

ローカルマニフェストの取組み状況について

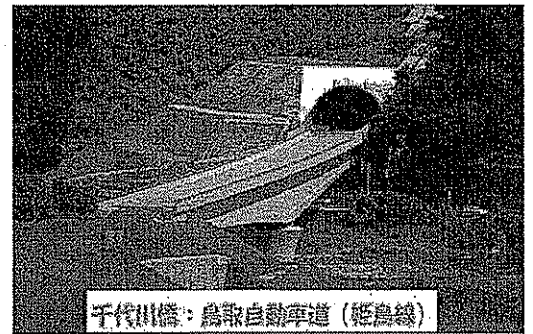
平成 18 年 4 月に掲げました 5 つのローカルマニフェストについて、平成 18 年度の取り組みと平成 19 年度の取組み計画及び暫定的な進捗状況を幹部で構成する政策調整会議で議論し、取りまとめました。

最終的には、平成 18 年の観光客入込み客数、市の合計特殊出生率、10 月 1 日推計人口などの数値実績を踏まえ、秋頃開催の「鳥取市総合企画委員会」に報告し議論の上、検証を完了することとしています。

ローカルマニフェストに掲げた目標の達成に向かい、初年度として積極的に取り組み、一定の成果が上がっているものと考えています。20 万都市鳥取市のさらなる前進に向けて、引き続き平成 19 年度も積極的に取り組んでまいります。

マニフェスト 1 高速道路を活かした地域経済の活性化

高速道路を活用して農林水産業・製造業等の振興と雇用拡大をはかります。企業誘致、4 年間で 8 社以上をめざします。



平成 18 年度の取組み状況

○企業誘致 6 社 * 市外の企業が本市に立地した場合、または市内企業が本市(公社含む)の造成した工業団地に新設・増設(移設は除く)した場合

番号	誘致年月日 (進出協定調印日 又は創業日)	誘致した企業名	従業者数の 計画 (雇用の増)	備考
①	平成 18 年 4/25	㈱ブライトン	80 人	産業機器関連ケーブル製造・販売(新津ノ井工業団地)
②	平成 18 年 7/7	㈱エムアンドシーシステム	15 人	生産管理システム開発、3D デジタルコンテンツ作成(県産業振興機構内)
③	平成 18 年 10/26	日本セラミック㈱	90 人	セラミックセンサー開発・製造・販売(新津ノ井工業団地)
④	平成 18 年 11/20	㈱ A R A I メタリックス	2 人	プレス・板金・溶接(新津ノ井工業団地)
⑤	平成 19 年 2/ 1	ダイキン工業㈱グローバル研修所	未定	社員研修施設(青谷町井出)
⑥	平成 19 年 2/22	シンフォニーエレクトロニクス㈱	20 人	家電や歩行・介護ロボットの電源部分に用いる高性能電子部品等の開発・販売(県産業技術センター内)
計			207 人	

- 新商品開発、販路開拓支援事業 3 社支援 ○新技術研究開発事業(産学官連携) 3 社支援
- 新規創業・開業支援事業 3 社支援
- ジャスコ鳥取北ショッピングセンター増床に伴う協定書(平成 18 年 8 月締結)
- 鳥取地域ブランド農産物登録制の創設 ○果樹・野菜生産振興事業 37 戸(新改植、ビニールハウス)

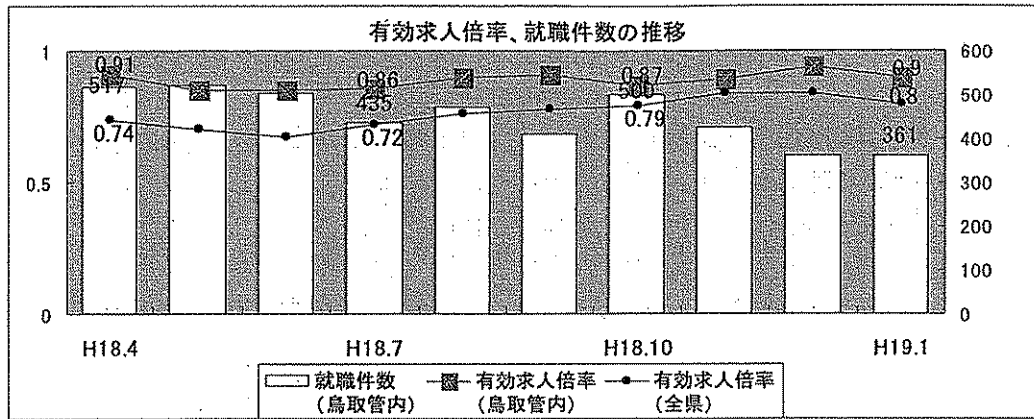
平成 19 年度の主な取組み

- 引き続き積極的に企業誘致を行う。
- 【新】中小企業人材育成助成事業(卸・小売業者の中小企業が業種転換等を図るため、半年以上の長期にわたる人材育成を行う場合の経費を一部補助)
- 【新】販路拡大等創出促進事業(商工会議所や各商工会が関西圏の経済界及び企業の経済交流を図り地元企業の販路拡大に向けた取組みを行う場合の経費を一部補助)
- 【新】農産物加工施設の開設(J A 鳥取いなば加工センター)(平成 19 年 5 月予定)
- 【新】アンテナショップ開設に向けた取組み
- 新商品開発、販路開拓支援事業 4 社支援予定 ○新技術研究開発事業(産学官連携) 6 社支援予定

○新規創業・開業支援事業

3社支援予定

○ジャスコ鳥取北ショッピングセンター増床（雇用の拡大、地元店舗の出店）



マニフェスト2 観光資源の魅力アップにより観光客の大幅増加

平成21年度を『因幡の祭典』の年とし、広域観光イベントを盛大に開催します。平成22年度の観光客数200万人以上をめざします。

※県の観光客数統計の修正により、目標値の200万人以上を270万人以上と見なし、取り組んでいる。

■平成18年度の取組み状況

○道の駅【神話の里白うさぎ、清流茶屋かわはら】

(平成18年4月～平成19年2月 両施設 約190万人)

○「2009鳥取・因幡の祭典」 ゆっくり ゆったり とっとり体験 ～砂丘と食と温泉と
基本検討委員会・実行委員会を設立、基本構想・計画の策定、
キャッチフレーズ・シンボルマーク・マスコットキャラクターの決定
*観光入込み客数100万人以上の増加をめざす。

「鳥取県東部広域圏 2005年 275万人→2009年 375万人」

○砂の美術館；平成18年11月オープン

(平成18年11/18～平成19年1/3 来場者110,962人)

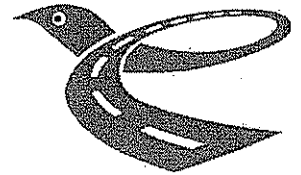
○「姫路・岡山・鳥取城下町物語推進協議会」

(愛称：HOTトライアングルの設置、協定書調印式；平成19年2月)

○鳥取砂丘地内未利用地活用事業

提案募集 (平成18年10/24～平成19年3/31 応募状況：1件、4/13公開ヒアリング)

○ガイナール鳥取への取組み (市役所応援団の結成、市役所ロビー2ヶ所に応援コーナー設置)



ナシータ カニーラ

■平成19年度の主な取組み

○2009鳥取・因幡の祭典

「2009鳥取・因幡の祭典実行委員会」等の開催、情報発信などの広報活動

○砂の美術館 第2期展示実施 (4/1～6/30)、周辺整備

○鳥取砂丘未利用地活用事業 提案募集に基づいて、鳥取砂丘西側の旧砂丘荘、旧青年家跡地を整備

○HOTトライアングルの取組み (第1回三市長会議 [8月：岡山市]、各市イベント等への市民相互参加の促進、ホームページ等による三市の一体的な情報発信)

マニフェスト3 人口が増加していく住み良いまちづくり

待機児童ゼロ、若者定住をはじめ、教育・健康・福祉の施策を充実させ、平成22年度の鳥取市人口203,000人をめざします。

■平成18年度の取組み状況

○鳥取市人口増加対策本部の設置 (平成18年5月設置、4回開催)

「人口が増加していく住みよいまちづくり」の取組み方針を策定

○定住促進

- ・「鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口」、専用フリーダイヤルを設置（平成18年9月）
- ・UJIターン希望者に対する専任相談員の設置（平成18年12月）

3月末までの受付状況262件、定住者の状況：定住者4組8人

○中心市街地の活性化（住宅市街地総合整備事業計画・都市再生整備計画策定中）

○とっとりふるさと就農舎（農業ビジネススクール）の開設準備

○鳥取環境大学への入学者増をめざしたPR（とっとり市報）

○平成18年度保育所待機児童数 ゼロ

○0・1・2・3子育て広場を文化センターへ移転拡充（平成18年10月）

○子育て支援ホームページ開設（平成19年1月）

○「保育事業充実特区」の認定による保育所臨時保育士の任用期間延長（平成19年3月30日）

○市立病院にPET/CTを導入（平成19年2月導入、稼動）

○自動体外式除細動器（AED）を12箇所に設置（平成18年8月）



■平成19年度の主な取組み

○鳥取市人口増加対策本部（平成19年度毎月1回開催予定）

○定住促進

定住促進・Uターン相談支援窓口の充実、UJIターン希望者への情報提供・県外情報発信、HP・情報誌によるPR

【新】空き家見学ツアーの実施、お試し定住体験事業

【新】UJIターン住宅支援事業補助金（UJIターン希望者の住宅改修費助成）

【新】施設整備型市民農園整備推進事業（吉岡温泉町地内100区画）

【新】とっとりふるさと就農舎（農業ビジネススクール）の開校（平成19年4月開校）

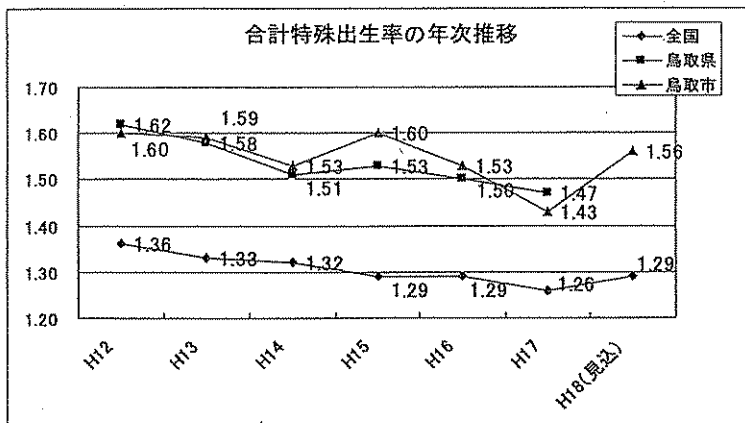
【新】教育センターの設置（平成19年4月）

【新】放課後子ども教育推進事業（すべての子育てで家庭を支援し、放課後対策も含め地域の子育て支援を充実するために新しい放課後子どもプラン事業を創設。2校をモデル校。）

【新】第3子子育て応援事業（3子以上を有し、0～小学3年までの子を有する保護者を対象にファミリーサポートセンター利用料の助成を行う）

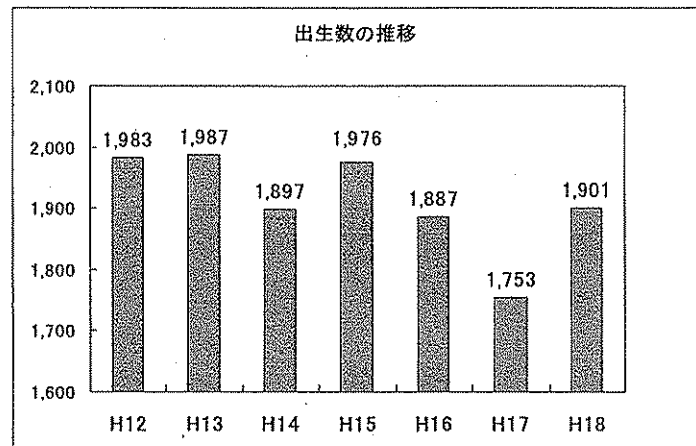
【新】子育て支援カード事業（3子以上の子を有する就学前までの子育てをしている保護者を対象として、協賛事業者と連携し、子育て支援カードを提示することにより割引を行う）

【新】病後児保育施設整備（市立病院内に専用施設整備）



※H12～H15の鳥取市の数値は合併地域を含めて算出したもの。

※18年の鳥取市の数値は出生届出数を積上げ、独自に算出した数値



*数値は、暦年（1月～12月）

マニフェスト4 地域コミュニティの充実と強化

平成19年度中に地区公民館の充実をはかり、地域の自治会や市民団体が行う防災・福祉・文化・スポーツ活動を強力に支援します。

■平成18年度の取組み状況

- 文化センター内へ生涯学習センター・文化活動ひろばを移転拡充（平成18年10月）
- 合併地域活性化推進事業（8総合支所で計画策定・実施）
- ケーブルテレビ網の全市域整備（平成18年8月完了）
- 地区公民館の整備（末恒地区公民館：平成19年5月完成予定）
- 集会所新築等補助事業（新築3件、増改築20件）
- 神護ふるさと村（かやぶき交流館）（平成19年3月完成）
- 防災行政無線の取組み（鳥取地域・国府地域の実施計画の策定）
- 学校安全推進事業の開始（地域住民の協力を得て「スクールガードボランティア」を設置し、学校内における子どもたちの安全確保を図る）

■平成19年度の主な取組み

【新】「公民館のあり方」策定（生涯学習・地域コミュニティの拠点づくり）

【新】国府町上地地区交流集会所の整備

【新】集落名表示板の設置（平成19年度から3年間）

- 集会所新築等補助事業（新築4件、増改築16件予定）
- 中山間地活性化交流施設整備 3集落（うるおいのある村づくり事業 倭文西、口細見、中井）
- 防災行政無線の取組み（鳥取地域・国府地域の整備着手：平成22年完成予定）
- 自主防災組織の充実強化（平成20年度を目途に組織一本化）
- 地域振興策の実施（合併地域活性化推進事業等）
- 福祉コーディネーターの拡充（2地区→8地区）

マニフェスト5 市民との協働と市民サービスの向上

平成18年度に、若者との協働によるまちづくりをめざし『若者会議』を新設します。市役所に何でも相談できる『市民総合相談窓口』を設けます。

■平成18年度の取組み状況

- 「若者会議」の設置（平成19年1月）（若者30人と若手市職員6人）
- 鳥取市みんなで作る住民自治基本条例検討委員会の設置（平成19年1月）
- 「市民総合相談窓口」の設置（平成19年1月） 3月末までの受付状況 254件
- 市管理職員による窓口案内業務（平成18年10月～）

■平成19年度の主な取組み

- 「若者会議」グループ会議・全体会議・若者議会の開催
- （仮称）住民自治基本条例の策定に向けた取組み（平成20年3月制定予定）
- 【新】「ごみポイ捨て禁止条例」の制定に向けた取組み（平成20年3月制定予定）
- 【新】「市長と気軽にトーク・トーク」（平成19年4月～）



住民自治基本条例検討委員会の設置



鳥取市若者会議



HOT トライアングル調印式